

2013年10月10日 発

報道関係者各位

学校法人東北学院 法人事務局広報部広報課
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
電話: 022-264-6423 / E-Mail: koho@tohoku-gakuin.ac.jp

気仙沼市民公開講座2013
「未曾有の災害に気仙沼はどのように向き合ってきたのか」
5週連続講座がスタート

取材のお願い

東北学院大学が中心となって気仙沼・唐桑を調査研究してきた内容と結果を、気仙沼の復興に対する意見・提言として、広く市民に紹介する機会として、東北学院大学開放講座「気仙沼市民大学」を開講いたします。10月26日(土)を皮切りに、5週連続、毎週土曜日の午後7時から9時まで、旧・気仙沼河北ビルを会場に開催されます。

毎回、気仙沼市民約50名を前に、本学の教員陣が気仙沼・唐桑地区で取り組んできたこの2年7カ月の研究活動について、学生は地域の聞き取り調査やボランティア活動について語ります。

つきましては、各社取材方、よろしくお願いいたします。

テーマ

未曾有の災害に 気仙沼はどのように 向き合ってきたのか

◇日時 平成25年 10月26日(土) 午後7時～午後9時
11月 2日(土)
11月 9日(土)
11月16日(土)
11月23日(土)

定員 50名 *資料代として参加費 お一人 1,000円

(参加回数にかかわらず、当日受付)

◇会場 旧・気仙沼河北ビル (気仙沼市魚市場前 1-1)
○主催 東北学院同窓会気仙沼支部・気仙沼市教育委員会・東北学院大学
○共催 東北学院大学災害ボランティアステーション・東北学院同窓会
東北学院大学地域共生推進機構
○後援 河北新報社・三陸新報社

【本件の取材に関するお問い合わせ】

東北学院大学教養学部地域構想学科准教授 金菱 清

携帯: 090-3717-4117

E-mail: soms9005@yahoo.co.jp

< プログラム内容と担当者 >

- 第1回：10月26日（土） 19：00～**
 - ・開講式 齋藤 欣也 東北学院同窓会気仙沼支部長 あいさつ
 - 『ボランティア・学的地平を地元で切り開く』
東北学院大学副学長 佐々木俊三
 - 『気仙沼の海の暮らしと防潮堤―地域社会の紐帯を守るために』
東北学院大学4年 佐々木 広清

- 第2回：11月2日（土） 19：00～**
 - 『それでも、「お年とり」の儀礼は行われた―
鹿折地区浪板および小々汐の年越し行事にみる「祈り」』
神戸大学准教授 梅屋 潔
 - 『いきがい』としての鰹節業再建―鹿折地区』
東北学院大学4年 相澤 卓郎

- 第3回：11月9日（土） 19：00～**
 - 『記憶地図の取り組み―唐桑町宿浦の場合』
東北学院大学講師 宮本 直規

- 第4回：11月16日（土） 19：00～**
 - 『千年災禍の海辺学―なぜそれでも人は海で暮らすのか』
東北学院大学准教授 金菱 清

- 第5回：11月23日（土） 19：00～**
 - 『なぜ集団移転は海が見えるところでなければならないのか
―唐桑町舞根の海にみる領域意識』
東北学院大学准教授 植田 今日子
 - ・閉講式 支部長 あいさつ 市長 or 教育長

【本件の取材に関するお問い合わせ】

東北学院大学教養学部地域構想学科准教授 金菱 清
携帯:090-3717-4117 E-mail:soms9005@yahoo.co.jp